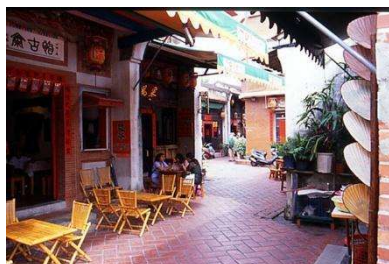


# 彰化 いにしへの港・鹿港

テーマ:歴史



かつて天然の良港を有していた鹿港は、18世紀後半から19世紀にかけて台湾府城(現在の台南)や艋舺(現在の台北・萬華)と並び、台湾有数の商業港として栄えた歴史ある町。清代の繁栄を今に伝える街並みが残り、町全体が“野外博物館”とも称されている。

市内には、台湾を代表する古刹の一つである龍山寺をはじめ、城隍廟、新祖宮、文開書院、文武廟、三山國王廟、天后宮、朝天宮など由緒ある寺廟が点在。今も参拝客でにぎわい、周辺には伝統菓子や郷土料理を味わえる屋台や老舗店が並び、歴史散策と食べ歩きが楽しめる台湾有数の古都として人気を集めている。

## 企画視点

主要都市からのアクセス

周辺の地図

<https://maps.app.goo.gl/JpQXLW76FkUGyBDy7>

主要都市:台中

台中市中心部から目的地までバスで片道およそ1時間30分

旅行会社の企画視点



由緒ある寺廟や古い街並みが残り、台湾伝統文化を体感できる人気観光地です。老街散策や伝統菓子、郷土料理の食べ歩きも楽しみ、台中・彰化周辺観光と組み合わせやすい立ち寄りスポットとしてツアー造成にも適しています。

鹿港天后宮、鹿港龍山寺、九曲巷

地域資源の視点



街道・絶景:生活の営みが美しい・建築美・景観美

清代の港町として栄えた歴史景観と多くの伝統寺廟が残る台湾郷土文化を今に伝える地域資源。老街や伝統菓子、信仰文化が融合した町並みが観光資源となっている。

イベント・祭りなど:

5月 鹿港ドラゴンボートフェスティバル

毎年3~4月 八卦山鷹観賞フェスティバル関連イベント

関連情報リンク先

台湾観光庁-彰化県 <https://jp.taiwan.net.tw/m1.aspx?sNo=0003113>

彰化県政府 彰化旅遊資訊網

問い合わせ先 / 画像提供:台湾観光庁